「ことばのちから」活用シート　活用事例

【岸和田市立常盤小学校】

| 活用シート名 | 昔話をまとめよう | | | 基になった  活用シート名 | 読４  おはなしをまとめよう |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学　年 | ２年生 | 教　科 | 国　語 | 時　期 | 随　時 |
| 活用場面 | 授　　業 | | | 配当時間 | ４５分 |
| 目　標 | 桃太郎の話を外国の友だちに教えてあげよう | | | | |
| 活用シート  ・  工夫した点 | * 「ももたろう」のお話を知らない人とは…誰に対してお話を教えてあげるのか？　話す対象を明確にする必要ある。 * よって将来、子どもたちにとって友だちになるかもしれない「外国の人」とした。 * 「ももたろう」の昔話は幼いころから親に物語を読んでもらったり、DVDで見たり、幼稚園や保育園で紙芝居を見たことがある児童が多い。よって課題設定としては良い。 | | | | |
| 成果や改善点 | * どんな昔話だったか、想起するにあたって、意見を聞いていると、児童によって印象に残っている場面は異なっていた。 * 物語を整理するために紙芝居を用い、４つの場面（起承転結）に分けた。 * １００字以内に物語をまとめることは難しく、ももたろうが鬼ヶ島から帰ってくる場面まで綴れない児童もいた。 * 発表にあたっては、先に隣同士で発表し、次にみんなの前で発表した。段階を経ることで全ての児童に作品を発表する機会を与えた。 * 友達の発表を聞いて、自分のまとめ方との違いに気づかせた。 * 互いの考えを伝えあい、まとめ方の違いを見出すことができた。 | | | | |
| 子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真　等）  読４　おはなしをまとめよう  「ももたろう」のお話を短くまとめよう。  どんな話だったか、想起する。  ○「ももたろう」の紙芝居を読む。  ○ 十六枚のコマを掲示し、場面分けをする。  　一の場面  二の場面  三の場面  四の場面  「ももたろう」のお話を知らない人に紹介しま  しょう。百字くらいにまとめてみましょう。  発表をする。  友だちのまとめ方と同じところやちがう  ところを見つける。  ふりかえり    …問題提示　…見通しを立てる　…自力解決をめざす　…友達の考えを聞く　…ほかの人の意見を聞き、自分の考えとの違いを見つける  …振り返り、まとめをする | | | | | |